

学認 Survey システム
利用者向け操作マニュアル（詳細版）

【1.2】

2023 年 11 月 9 日
国立情報学研究所

目次

1. はじめに.....	2
1.1 本マニュアルについて	2
1.2 注意事項.....	2
1.3 リマインドメールについて.....	3
1.4 一時保存機能.....	3
1.5 設問内容、回答内容 印刷機能.....	5
1.6 昨年度回答の参照	6
2. ログインについて.....	7
2.1 学認 Survey システム（一般版）によるログインについて	7
2.2 学認 Survey システム（CGS 連携バージョン）によるログインについて	8
3. 調査回答について.....	11
3.1 調査回答	11
3.2 調査確認画面へ進む	12
3.3 調査回答内容確認	12
3.4 調査登録完了	13
3.5 回答後の参照方法について	13

1. はじめに

1.1 本マニュアルについて

本マニュアルは学認 Survey システムの利用者向け操作方法を記載しております。

学認 Survey システムには、ログイン方法が2パターンあります。1パターン目は、「**学認 Survey システム ログイン方法等のご案内**」に記載されたログイン ID とパスワードを用いて「学認 Survey システム（一般版）」に直接ログインする方法（2.1 参照）です。2パターン目は、学認申請システムに登録されている運用責任者様と運用担当者様が、そこに登録されている ID とパスワードを用いて「学認 Survey システム（CGS 連携バージョン）」にログインする方法（2.2 参照）です。

ご回答者様におかれましては、上記2パターンのいずれかでログインしてください。

学認 Survey システム（CGS 連携バージョン）を利用できるのは、学認クラウドゲートウェイサービスをご利用されている機関で、2023年10月12日時点で学認申請システムに運用担当者として登録されている人、および運用責任者かつ ePPN が登録されている人となります。

※ 学認クラウドゲートウェイサービスへ、いくつかの属性を送信するよう設定頂ければ、参加することができます。

学認参加 IdP 運用状況調査票(2023 年度実施版)

<https://www.gakunin.jp/document/713>

の「学認 Survey システム（CGS 連携バージョン）の利用における初期設定マニュアル.pdf」を参照ください。

1.2 注意事項

- 1) 学認 Survey システムへログイン後 60 分以内に、「**一時保存して中断（次画面で内容確認）**」もしくは「送信」ボタンを押されなかった場合、ログインが切断され入力した調査内容が破棄されますのでご注意ください。
- 2) 複数端末から同じ時間帯にログインし、調査内容を入力された場合、最後に保存された方の内容が適用されます。
- 3) 本調査は必須マークがついている設問は回答必須です。また、必須マークのない設問についても、対象となる設問は、必ずご回答ください。
- 4) 本調査にご回答いただく際、ご担当がわかれている場合は、適宜当該部門にご確認のうえ、ご回答ください。

1.3 リマインドメールについて

回答期限が近づき、まだご回答いただけていない場合、リマインドメールを送信させていただきます。リマインドメールの内容をご確認いただき、回答期限までにご回答ください。

なお、連絡配信手段として、貴機関にて学認申請システムに登録された運用責任者様、運用担当者様および連絡先のメールアドレスをメーリングリスト化し（meatmailにて）、送信先として使用させていただきますので、ご承知おきください。

1.4 一時保存機能

- 1) 調査回答画面の最下部にある「一時保存して中断」ボタン（図 1-1）をクリックしてください。



図 1-1 調査回答画面「一時保存して中断」ボタン

- 2) 次の画面（図 1-2）に移動するので、「一時保存」ボタンをクリックしてください。

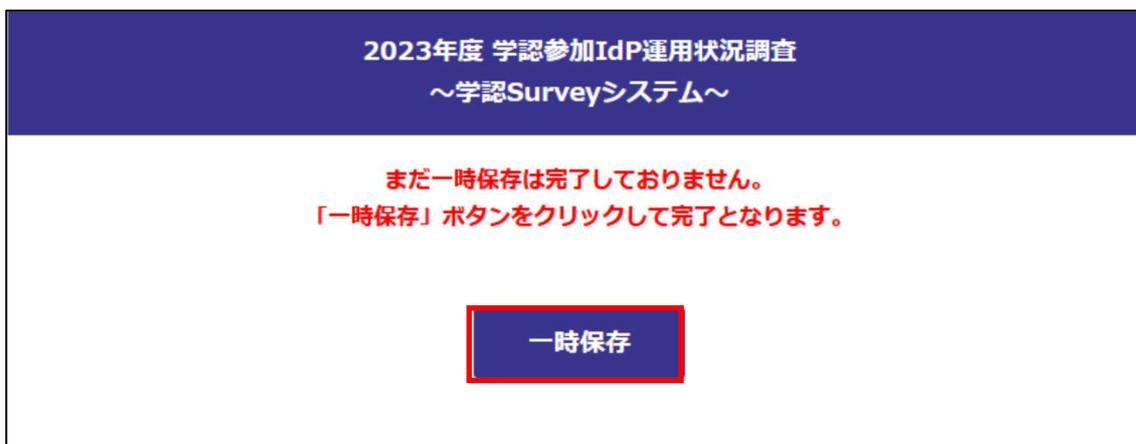


図 1-2 調査回答確認画面_画面上部にある「一時保存」ボタン

※ 調査フォームでは、「その他」を選択した時、対応する欄に何らかの説明を求める設問がありますが、一時保存なのに、このチェック機構が効き、一時保存できないことがあります。「その他」等のチェックを外して、一時保存してみてください。

- 3) 図 1-2「一時保存」ボタンをクリック後、調査はデータベースに登録されます。
(図 1-3)



図 1-3 一時保存確認画面_画面最下部にある「一時保存」ボタン

- 4) 前項一時保存確認画面にて、「一時保存」ボタンをクリック後、一時保存完了画面（図 1-4）が表示されましたら、一時保存完了となります。再度修正する場合は、ログイン画面からやり直してください。

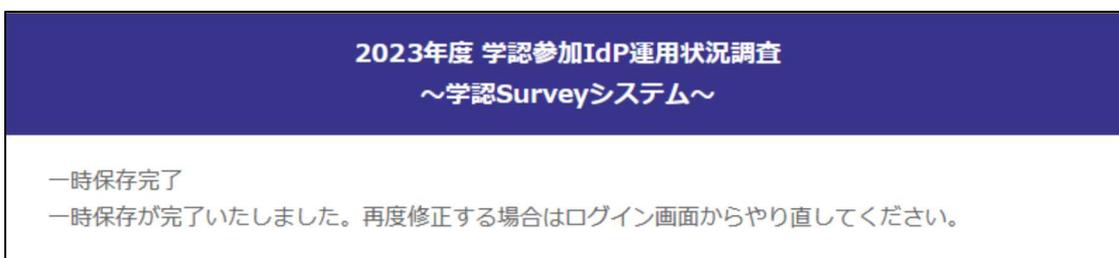


図 1-4 一時保存完了画面

1.5 設問内容、回答内容 印刷機能

設問内容や回答内容を各機関内での決裁等にお使いの場合、以下の2種類の印刷機能をご利用いただけます。適宜用途に合わせてご利用ください。

1) 設問内容の全印刷

アンケート入力画面から「印刷はこちらから」(図1-5) ボタン(後述の3.1に記載)を押すと、設問内容の全て(ラジオボタン、チェックボックスが印刷対象になります)と回答した内容が印刷されます。

※但しテキスト欄で、入力枠に収まらない文字数を入力された場合は印刷上文字が途中で切れた形での印刷になります。(図1-6)

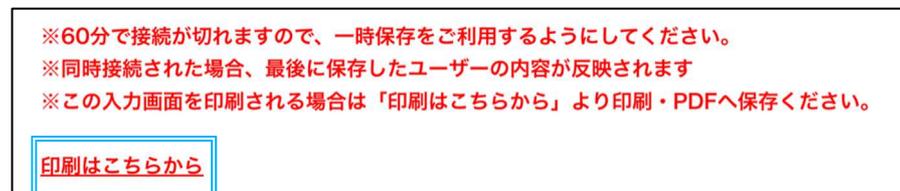


図1-5 アンケート入力画面の印刷ボタン

Q8.IdP運用上での根拠規則や内規の制定状況について 必須

- 1. 全学情報サービスを担当する情報基盤センターの内規がある。
- 2. IdP運用規則、全学サービスセキュリティポリシーがある。
- 3. IdP運用規則、全学サービスセキュリティポリシーがあり、学内限定で公開されている。
- 4. 全学サービスセキュリティポリシーが存在する。IdPはそのもとで適切に運用されている。
- 5. 特にないが、運用責任者の管理の下、適切に運用されている。
- 6. 規則などは特にないが、現在制定中である。
- 7. 全学的にはテスト利用の扱いになっている。
- 8. 「高専機構における学術認証フェデレーション(学認)連携サービス運用要項」に基づき、IdPを運用している。
- 9. その他

「その他」と答えた場合及び、1または2と回答し公開されているURLがある場合は、具体的に記入してください。

その他回答例1 その他回答例2 その他回答例3 その他回答例4 その他回答例

図1-6 アンケート入力画面からの印刷例

2) 回答内容の全印刷

本調査票の必須項目を全て入力し、「アンケートを送信」ボタンを押した後の確認画面から「印刷はこちらから」(図 1-7) ボタン(後述の 3.3 に記載)を押すと、各設問で回答(選択及び記述)された回答内容の全てと設問の内容が印刷されます。(図 1-8)

※テキストで回答された内容は全て印刷対象になりますが、選択されなかった選択肢や回答例は印刷の対象になりません。

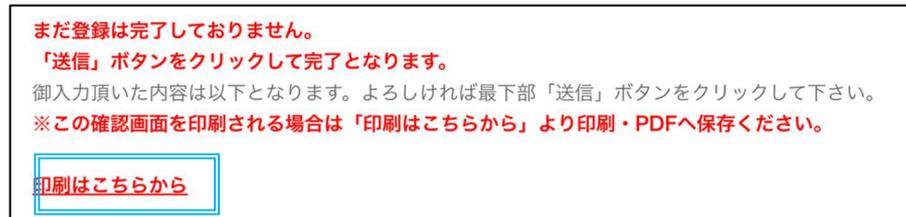


図 1-7 「アンケートを送信」ボタンを押した後の確認画面の印刷ボタン



図 1-8 確認画面からの印刷例

1.6 昨年度回答の参照

「昨年度回答はこちらから」ボタンを押すと、昨年度の回答表示画面に遷移します(図 1-9)。昨年度回答を別ウィンドウに表示するか、印刷するかして、今年度調査項目の回答の参考にすることができます。



図 1-9 昨年度回答表示ボタン

なお、昨年度回答いただいていない時は、「昨年度回答はこちら」ボタンは表示されません。

2. ログインについて

2.1 学認 Survey システム（一般版）によるログインについて

学認 Survey システム（CGS 連携バージョン）へログインする場合は「2.2 学認 Survey システム（CGS 連携バージョン）によるログインについて」を参照してください。

- 1) 以下の学認 Survey システム URL へアクセスします。

https://idp-survey.gakunin.nii.ac.jp/webapp/form/25112_wdlb_1/index.do

- 2) ログイン画面(図 2-1)が表示されたら、事前に郵送されている「学認 Survey システム ログイン方法等のご案内」文書に記載のある ログイン ID と パスワード を入力し、「ログイン」ボタンをクリックすることにより、調査回答画面へ接続できます。

2023年度 学認参加IdP運用状況調査
～学認Surveyシステム～

学認参加IdP運用状況調査にご協力いただきましてありがとうございます。
今年度の調査は、設問1～47まで、2022年度と同様の設問を設定しております。前年度調査票をご参照の上ご回答ください。
※60分で接続が切れますので、一時保存をご利用するようにしてください。
※同じIdPのご回答者が同時に接続された場合、最後に保存したユーザーの内容が反映されます。ご注意ください。
※ご不明点は国立情報学研究所 学認参加IdP運用状況調査担当までお問合せください。

ログインID

パスワード

ログイン

図 2-1 ログイン画面

- 3) ログイン後、「3. 回答調査について」に続きます。

2.2 学認 Survey システム (CGS 連携バージョン) によるログインについて

学認 Survey システム (CGS 連携バージョン) を利用できるのは、学認クラウドゲートウェイサービスをご利用されている機関で、2023 年 10 月 12 日時点で学認申請システムに運用担当者として登録されている人、および運用責任者かつ ePPN が登録されている人となります。

※ 学認クラウドゲートウェイサービスへ、いくつかの属性を送信するよう設定頂ければ、参加することができます。

学認参加 IdP 運用状況調査票(2023 年度実施版)

<https://www.gakunin.jp/document/713>

の「学認 Survey システム (CGS 連携バージョン) の利用における初期設定マニュアル.pdf」を参照ください。

- 1) 以下の学認 Survey システム (CGS 連携バージョン) URL にアクセスします。

<https://survey.gakunin.nii.ac.jp/questionnaire/login>

「学認クラウドゲートウェイサービス」のサイトから「学認参加 IdP 運用状況調査」アイコンをクリックしていただいても、上記 URL へアクセスできません。

- 2) 次の所属している機関を選択する画面 (図 2-2) にて、ご所属の機関を選択してください。

所属機関:

ブラウザ起動中は自動ログイン

学認クラウドゲートウェイサービスは利用規程に基づいて運用されており、学認クラウドゲートウェイサービスをご利用された時点で本規程に同意されたものとみなされます。ご利用前に利用ガイドラインを必ずお読みください。
なお、OpenIdP 含め利用申請されていない機関所属の方は後述の通りグループ機能のみ利用可能です。該当する方は利用規程の解釈が異なりますのでグループ機能利用ガイドラインをお読みください。

本サービスは研究・教育活動に必要な各種クラウドサービスや電子ジャーナル等のオンラインサービスにワンストップでアクセスするためのポータルです。
利用申請済みの機関の方は、機関契約を行っているサービスやグループで利用しているサービスなどに素早く、簡単に、アクセス可能となります。
未申請の機関の方はグループ機能 (MYグループ) のみ利用可能です。利用申請は随時受け付けておりますので <https://cloud.gakunin.jp/cgw/> をご参照ください。

GakuNin Cloud Gateway Service provides portal functionality to access all of the online services from one place, such as the various cloud services necessary for research and educational activities as well as electronic journals.
Constituent members of one of universities and research institutions, i.e. the organization, can easily and quickly access the list of services they want to use such as the services contracted by their organization, by accessing this service via authentication infrastructure operated by their organization. Furthermore, administrators of the organization can count on a highly-convenient system for members of their organization, such as the ability to customize service lists to display for users.

図 2-2 所属している機関を選択する画面

- 3) 所属機関ログイン画面（図 2-3）にて、各所属機関で用いている アカウント と パスワード を入力し、ログインを実行してください。（所属している機関を選択する画面およびユーザ名とパスワード入力画面の画面に続き、属性送信同意画面が出る場合があります。）

学認 GakuNin

本テストIdPでは、学認申請システムで「受信する属性情報」に指定された属性のみ送信されます。「受信する属性情報」が設定されていない場合、およびテンプレート外のメタデータを使っていてその中で <md:RequestedAttribute> が定義されていない場合は、送信可能なすべての属性を送信します。ただし、いずれの場合もisMemberOf属性は送信されません。isMemberOf属性の受信を希望される場合は学認クラウドゲートウェイサービスとの連携をご確認ください。

ログインサービス: 学認クラウド
ゲートウェイサービス (開発環境2)

ユーザ名

パスワード

ログインを記憶しません。

送信する情報を再度表示して送信の可否を選択します。

Login

図 2-3 アカウントとパスワード入力画面（画面イメージは所属機関で異なります）

- 4) 属性情報を学認 Survey システムに開示してもよいかの確認画面（図 2-4）にて、「許可する」ボタンをクリックすることにより、調査回答画面へ接続できます。

学認クラウドゲートウェイサービスのグループ機能(mAP Core)

サービス'学認Surveyシステム'に対して以下の属性送信と、サービスがあなたの代わりにグループへの参加、グループの作成・管理等操作することを許可しますか？

氏名

所属

メールアドレス

プリンシパルID(ePPN)

許可する

図 2-4 学認 Survey システムに対する属性情報の開示確認画面

5) ログイン後、「3 調査回答について」に続きます。

なお、学認 Survey システム (CGS 連携バージョン) にログインする権限がない人がログインすると、権限エラーが発生しエラー画面 (図 2-5) が表示されます。エラー画面の内容に従ってお試してください。

権限エラー - 学認Surveyシステム

あなたには学認参加IdP運用状況調査に回答する権限が与えられておりません。回答できる方は、学認申請システムに運用担当者として登録されている方、運用責任者かつePPNが登録されている方、およびそれらの人から回答者として指名された方です。

もし該当するにもかかわらずこの画面が表示された場合は次のことをご確認ください。大学やOpenIdPなど複数のIdPにIDをお持ちの場合、もしくは同じIdPに複数のIDをお持ちの場合は、[学認申請システム](#)に登録されているほうのIDで認証を行ったか、今一度ご確認ください。

別のIDでお試しになる場合は、一旦以下のリンク先にアクセスしログアウトした後で再度最初からお試してください。

⇒[ログアウト](#)

⇒[学認Surveyシステム \(CGS連携バージョン\)](#)

さらに、所属機関選択がスキップされ再選択できない場合は以下のリンク先で所属機関情報をリセットしてから再度お試しください。

⇒[所属機関設定ページ](#)

⇒[学認Surveyシステム \(CGS連携バージョン\)](#)

図 2-5 学認 Survey システムの権限エラー画面

3. 調査回答について

3.1 調査回答

ログイン後、調査回答画面(図 3-1)に遷移しますので、内容をご回答ください。
回答方法は設問により異なり、テキスト形式や選択形式による入力があります。

2023年度 学認参加IdP運用状況調査
～学認Surveyシステム～

※60分で接続が切れますので、一時保存をご利用するようにしてください。
※同時接続された場合、最後に保存したユーザーの内容が反映されます
※この入力画面を印刷される場合は「印刷はこちらから」より印刷・PDFへ保存ください。

印刷はこちらから

学認参加IdP運用状況調査にご協力いただきましてありがとうございます。
本調査は、**必須**マークがついている設問は回答必須です。
また、**必須**マークのない設問についても、対象となる場合は、必ずご回答ください。
本調査にご回答いただく際、担当がわかれている場合は、適宜当該部門に確認の上ご回答ください。

IdPの運用には下記の各部門が関係する可能性があります(機関によって異なります)。またIdPの運用を外部委託している場合、当該委託事業者やIDaaS事業者が下記いずれか、または複数を担当している場合があります。

設問のまとまりごとに、関係すると思われる部門 (IdP運用担当部門以外) を記入しておりますが、照会先をこれに限定するものではありません。

なお今年度の調査は、設問1～47まで、2022年度と全く同じ設問を設定しております。前年度調査票をご参照の上ご回答ください。

昨年度の回答内容は以下より参照いただけます。
昨年度回答はこちらから

●**IdP運用担当部門**
多くの場合、IdP運用担当者の所属部門が該当します。

▲**ID基盤管理部門**
LDAP や Active Directory などのID基盤を管理する部門が該当します。情報基盤センター等以外にも、人事や総務が担当している場合があります。

▼**システム管理部門**
IdPの設定とインフラを管理する部門が該当します。情報基盤センター等以外に、図書館などが担当している場合があります。

★**ポリシー管理部門**
機関の規程やセキュリティポリシーなどを管理する部門が該当します。

一時保存して中断 (次画面で内容確認)

図 3-1 2023 年度 学認参加 IdP 運用状況調査のトップ画面

3.2 調査確認画面へ進む

Q1～Q52 までの設問の入力が完了しましたら、画面下部にある「アンケートを送信」ボタン（図 3-2）をクリックし、調査回答内容確認画面へ進んでください。

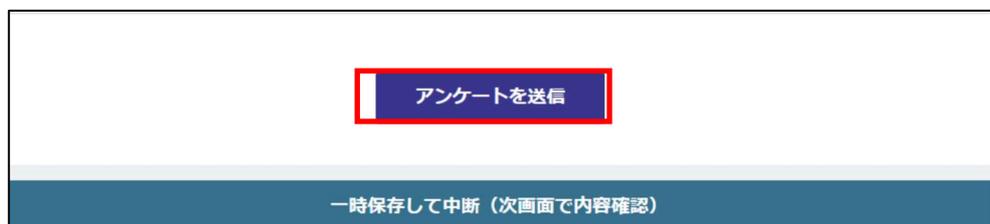


図 3-2 調査回答画面 「アンケートを送信」ボタン

3.3 調査回答内容確認

調査回答内容確認画面にて、ご回答内容にお間違いがないかご確認ください。

「送信」ボタン（図 3-3）をクリックし、調査の登録をおこなってください。

「送信」ボタンをクリック後、調査はデータベースに登録されますが、調査期間中は調査内容の修正が可能です。

また、「戻る」ボタンをクリックすることで、調査回答画面へ戻り、入力内容を変更することが可能です。

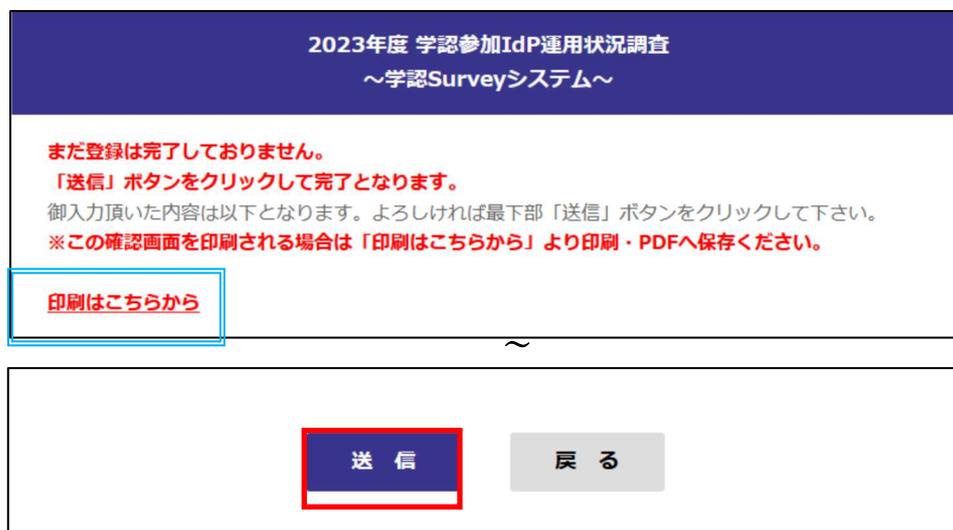


図 3-3 調査回答内容確認画面

3.4 調査登録完了

調査回答内容確認にて、「送信」ボタンをクリック後、調査回答完了画面（図 3-4）が表示されましたら、登録完了となります。

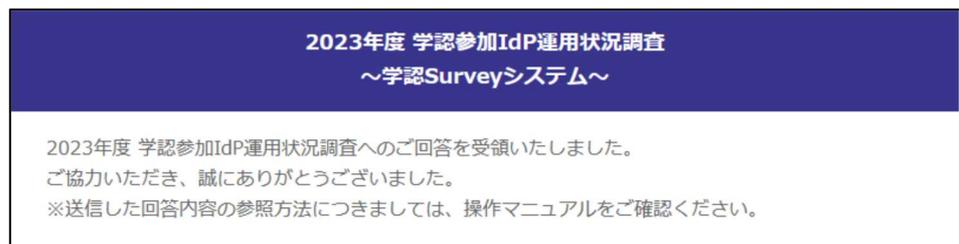


図 3-4 調査回答完了画面

3.5 回答後の参照方法について

回答期間中であれば、ログインをし直すと送信済みの回答内容を参照することができます。ただし、この状態から一時保存してしまうと、回答中のステータスに戻り、リマインドメールの対象となるためご注意ください。

なお、送信後に回答内容に誤りが見つかった場合、回答期間中であれば修正が可能です。ログインし直し、回答内容を修正の上、3.2 以降の操作を確実に行ってください。図 3-4 調査回答完了画面と【回答受領】メールをもって再度回答完了となります。

不明な点や相談を要する点などございましたら、
以下までお問い合わせください。

国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術基盤課
学認参加 IdP 運用状況調査担当
メールアドレス：gu-survey@nii.ac.jp